第１３回原子力委員会 資料第２－　　　　号

高速増殖原型炉もんじゅの２次主冷却系ナトリウム漏えい事故について

平成８年２月２０日
動力炉・核燃料開発事業団

１．経緯

平成７年１２月８日、「もんじゅ」の２次主冷却系Ｃループにおいて、ナトリウム漏えい事故が発生、原子炉を手動トリップした。

漏えいが発生した２次主冷却系Ｃループと１次主冷却系Ｃループのナトリウムをドレンした後、２次主冷却系の各室に飛散したナトリウム化合物の除去・清掃作業、原因究明のためのロストパーツ探索作業を実施している。

２．最近の状況

当該配管室等の床・壁等の清掃を継続して実施している。

ロストパーツ探索作業は、第１段階追加撮影及び第２段階として主配管及び補助冷却系配管を２月１３日から１６日まで実施した。

また、２次系温度計シール強化作業については、Ｂループのナトリウムをドレンした後、保温材撤去及び放射線撮影後、２月１０日から１５日まで温度計取付け部変更作業を行った。

なお、２月１５日大洗において、ナトリウムによる漏えい速度、漏えい形態の確認実験を、公開で実施した。

３．今後の予定

当該２次主冷却系配管漏えい部のより詳細な調査を行う。また、ロストパーツの探索作業及び２次系Ａループの温度計部シール強化作業を継続して実施する予定である。

以　上